

# 戦争とは…

# 空襲・原爆・特攻



小田原市立かもめ図書館 平成22年8月号

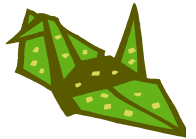
PC : [http://www.opac.city.odawara.kanagawa.jp/a\\_top/](http://www.opac.city.odawara.kanagawa.jp/a_top/) 携帯 : <http://www.opac.city.odawara.kanagawa.jp/i/>

\*\* インターネットから本の予約ができます! \*\*



ここで紹介している本は、すべてかもめ図書館で所蔵している本です 貸出中のときは予約することもできます

戦争によって、特攻隊として戦った若者や兵士ばかりでなく、空襲や原爆で一瞬にして命や家族を失うなど大勢の人たちが犠牲となりました。終戦記念日を前に人々を苦しめた「戦争」について改めて考えてみましょう。



**「特攻振武寮」**  
証言・帰還兵は地獄を見た  
大貫健一郎、渡辺考 著  
講談社

昭和20年4月に鹿児島県知覧飛行場から特攻機で飛び立ったが、アメリカ軍機に迎撃され徳之島に不時着し、特攻隊員として生きて終戦を迎えた著者の、死んでいった仲間たちへの無念、生き残ったゆえの苦悩、特攻作戦への疑問などインタビューによる記録となって



**ビジュアルブック 語り伝える空襲**  
第1巻「10万人が殺された日」  
東京大空襲と北海道・東北の空襲  
安斎育郎 文/監修

上記第1巻のほか、第2巻では「那覇と関東の空襲」第3巻「愛知空襲と東海・北陸甲信越の空襲」第4巻「大阪大空襲と近畿・四国の空襲」第5巻「広島・長崎の原爆と中国・九州の空襲」と、日本全国の空襲の状況が記されている。

書名	著者名	出版社	出版年	請求記号
<b>空襲に関する本</b>				
語り伝える空襲 ビジュアルブック 第1巻 10万人が殺された日	安斎 育郎/文 監修	新日本出版社	2008*	210
語り伝える空襲 ビジュアルブック 第2巻 日本が戦場になった日	安斎 育郎/文 監修	新日本出版社	2008*	210
語り伝える空襲 ビジュアルブック 第3巻 ふりそそぐ爆弾の雨	安斎 育郎/文 監修	新日本出版社	2008*	210
語り伝える空襲 ビジュアルブック 第4巻 逃げまどう市民たち	安斎 育郎/文 監修	新日本出版社	2008*	210
語り伝える空襲 ビジュアルブック 第5巻 人類初の核攻撃	安斎 育郎/文 監修	新日本出版社	2008*	210
忘れてはイケナイ物語り	野坂 昭如/編	光文社	2000	210.7
東京大空襲の全記録 (グラフィック・レポート)	石川光陽/写真・文	岩波書店	1992	210.7
母と子でみる東京大空襲	早乙女 勝元/編	草の根出版会	1988	210.7
米軍が記録した日本空襲	平塚 柁緒/編著	草思社	1995	210.7
下町が燃えたあの夜 東京大空襲資料展の記録	<small>東京大空襲犠牲者追悼灯ろう流し記念資料展実行委員会</small>	光陽出版社	1992	210.7
東京を爆撃せよ 作戦任務報告書は語る	奥住喜重/著	三省堂	1990	391.2
アメリカの日本空襲にモラルはあったか 戦略爆撃の道義的問題	ロナルド・シェイファー/著	草思社	1996	391.2
ある中学生の戦中日記 阪神空襲実録	高瀬 湊/著	東方出版	1991	916 タカセ
昭和二十年の青空 横浜の空襲、そして占領の街	赤塚 行雄/著	有隣堂	2004	916 アカツ
絵本 東京大空襲 (お父さんのカレンダー あの時・この時)	早乙女 勝元/作	理論社	1978	E ト
子どもに伝える太平洋戦争史 3 日本本土の初空襲	和歌森 太郎/[ほか] 編	岩崎書店	1991*	210
戦争と子どもたち	早乙女 勝元/著	河出書房新社	2003	210.7
<b>原爆に関する本</b>				
絵で読む広島の原爆 (かがくのほん)	那須 正幹/文	福音館書店	1995*	210
広島原爆の疑問点 このまま黙っていたら大変な事になる	穴戸 幸輔/著	マネジメント社	1991	210.7
被爆45年広島の声なき証言者たち 写真集	福島 明博/著	日本機関紙出版	1990	210.7
葬られた原爆展 スミソニアンへの抵抗と挫折	フィリップ・ノビーレ/著	五月書房	1995	210.7
アメリカの中の原爆論争 戦後50年スミソニアン展示の波紋	NHK取材班/編集・執筆	ダイヤモンド社	1996	210.7
アメリカはなぜ日本に原爆を投下したのか	ロナルド・タカキ/著	草思社	1995	210.7

\*…児童書 E…絵本

書名	著者名	出版社	出版年	請求記号
京都に原爆を投下せよ ウォーナー伝説の真実	吉田守男／著	角川書店	1995	210.7
アジアの声 第9集 南京大虐殺と原爆		東方出版	1995	210.7
ノーモアヒロシマ・ナガサキ 原爆写真	黒古 一夫／編	日本図書センター	2005	210.7
カウントダウン・ヒロシマ	スティーヴン・ウォーカー／著	早川書房	2005	210.7
原爆遺構長崎の記憶 新版	長崎の原爆遺構を記録する会／編	海鳥社	2005	210.7
あの日… 『ヒロシマ・ナガサキ死と生の証言』より	日本原水爆被害者団体協議会／編	新日本出版社	1995	210.7
ヒロシマあの時、原爆投下は止められた いま、明らかになる悲劇の真実	TBSテレビ「ヒロシマ」制作スタッフ／編	毎日新聞社	2006	210.7
ナガサキ昭和20年夏 GHQが封印した幻の潜入ルポ	ジョージ・ウェラー／著	毎日新聞社	2007	210.7
原爆で死んだ米兵秘史	森 重昭／著	光人社	2008	210.7
長崎旧浦上天主堂1945-58 失われた被爆遺産	高原 至／写真	岩波書店	2010	210.7
ナガサキ消えたもう一つの「原爆ドーム」	高瀬 毅／著	平凡社	2009	219.3
原爆の父オッペンハイマーと水爆の父テラー 悲劇の物理学者たち	足立 寿美／著	現代企画室	1987	289.3 オツペ
ロバート・オッペンハイマー 患者としての科学者	藤永 茂／著	朝日新聞社	1996	289.3 オツペ
オッペンハイマー「原爆の父」と呼ばれた男の栄光と悲劇 上	カイ・バード／著	PHP研究所	2007	289.3 オツペ
オッペンハイマー「原爆の父」と呼ばれた男の栄光と悲劇 下	カイ・バード／著	PHP研究所	2007	289.3 オツペ
原爆の絵 ヒロシマの記憶	NHK広島放送局／編	日本放送出版協会	2003	319.8
原爆の凶 描かれた〈記憶〉、語られた〈絵画〉	小沢 節子／著	岩波書店	2002	721.9 コゲマ
原爆の凶 新版	丸木 位里／絵	原爆の凶丸木美術館	1988	723.1
吾等原爆に降伏せず	川内 康範／著	広済堂出版	2007	912.7
原子爆弾「でぶっちょ」(続・長崎の原爆シリーズ 上巻)	坂口 便／作	学校教材社あらしき書店	1988*	916 サカグ アオ
原子野の汽笛 (続・長崎の原爆シリーズ 中巻)	坂口 便／作	あらしき書店	1986*	916 サカグ アオ
消えてしまった町 (続・長崎の原爆シリーズ 下巻)	坂口 便／作	学校教材社あらしき書店	1987*	916 サカグ アオ
「ヒロシマ」の空白中沢家始末記(シリーズ 昭和とはなんであったのか)	中沢 啓治／著	日本図書センター	1987	916 ナカザ
私はヒロシマ、ナガサキに原爆を投下した	チャールズ・W. スウィーニー／著	原書房	2000	936 スウイ
デューティ わが父、そして原爆を落とした男の物語	ボブ・グリーン／著	光文社	2001	936 グリン
原爆の火	岩崎 京子／文	新日本出版社	2000	E ゲ
ヒロシマに原爆がおとされたとき	大道 あや／著	ポプラ社	2002	E ヒ

### 特攻に関する本

もう、神風は吹かない 「特攻」の半世紀を追って	シュミット村木真寿美／著	河出書房新社	2005	210.7
特攻隊員たちへの鎮魂歌(レクイエム)	神坂 次郎／著	PHP研究所	2005	210.7
特攻隊振武寮 証言・帰還兵は地獄を見た	大貫 健一郎／著	講談社	2009	210.7
海に消えた56人 海軍特攻隊・徳島白菊隊	島原 落穂／著	童心社	1990*	916 シマハ アオ
魚雷艇の二人 若き同期の桜の生涯	志賀 博／著	光人社	1987	916 シガ
つばさのかけら 特攻に散った海軍予備学生の青春	日野 多香子／著	講談社	1997	916 ヒノ ミドリ
積乱雲の彼方に 太平洋戦争	篠原 武次／著	文芸社	2003	916 シノハ
恐怖の人間爆弾「桜花」発進準備よし(証言・昭和の戦争)	佐伯 正明／〔ほか〕著	光人社	1991	916 サエキ
出口のない海 人間魚雷回天特攻作戦の悲劇	横山 秀夫／著	講談社	1996	916 ヨコヤ
「特攻」と日本人 (講談社現代新書)	保阪 正康／著	講談社	2005	S210.7
銀時計の特攻 陸軍大尉若杉是俊の幼年学校魂 (文春新書)	江森 敬治／著	文芸春秋	2008	S289.1 ワカス

### 小田原(郷土)の戦争記録の本

神奈川県戦争遺跡	神奈川県歴史教育者協議会	大月書店	1996	K210.7
総合で地域の戦争を調べよう (戦争と民衆ブックレット1)	戦時下の小田原地方を記録する会	戦時下の小田原地方を記録する会	2003	K210.7
市民が語る小田原地方の戦争	戦時下の小田原地方を記録する会	戦時下の小田原地方を記録する会	2000	K210.7
小田原空襲 (小田原ライブラリー)	井上 弘／著	夢工房	2002	K213.7
ヒロシマに行ってみよう! 原爆と遺跡と語り部とのふれあいの旅		西湘地区教育文化研究所	1996	K374.4
焦げたはし箱 語り伝えよう戦時下の小田原	戦時下の小田原地方を記録する会	夢工房	1992	K916 コゲタ
相模湾上陸作戦 第二次大戦終結への道(有隣新書 52)	大西 比呂志／〔ほか〕著	有隣堂	1995	K210.7
占領の傷痕 第二次大戦と横浜 (有隣新書 20)	服部 一馬／著	有隣堂	1983	K210.7
戦時下に生きる 第二次大戦と横浜 (有隣新書 18)	伊豆 利彦／著	有隣堂	1980	K210.7